

開催趣旨

道ばたで大きな声で無邪気にはしゃぐ子供達。夕暮れを背に散歩するおばあさん、おじいさん。

今、日本各地でこうした光景がなかなか見られなくなっています。安全神話は崩壊し、地域社会の安全は、私たち自らが考え、行動して作り上げるしかありません。私たちが目指すべき「安心・安全なまちづくり」とは何でしょうか。

技術は目覚ましい発展を遂げ、日本中どこにいても繋がり、意思疎通のとれる現代は「ユビキタス社会」ですが、子供やお年寄りはその恩恵が受けられていないのが現実です。

しかし、各地で技術をうまく活用し、独自の活動で「安心・安全なまちづくり」に成功しているところがあります。そこには、技術の活用はさることながら、地域でサービスを維持する経済の循環モデルやコミュニティの豊かな形成があるはずで。

今年の京都研究会は、特に成功している各地の当事者をお招きし、具体的な内容から見つかる様々なノウハウを交えながら、皆さんで持ち寄る地域の課題を解決するべく開催いたします。

近年、子供やお年寄りをねらう犯罪には目を覆いたくなるほどです。こうした社会のしわ寄せから社会的弱者を守り、「安心・安全なまちづくり」をご参加の皆様と共に行動できる機会になりましたら幸いです。

『私たちのまちに
安心・安全のネットワークをつくる！』

少年・高齢化社会の安心・安全なまちづくり

第8回京都研究会

<http://www.sccj.com/kk/2006/>

SCCJ

Sustainable Community Center Japan

2006年12月1日(金)
午後1時から4時50分
京都市国際交流会館
イベントホール

定員 200名

※事前申込先着順



第1部

13:00~16:50

● 研究会 ※下記のテーマ、講演者は変更の可能性があります。

- 『IC乗車券で実現した安心・安全な登下校 -あんしんグーパス-』
● 浜瀬 富雄 氏 (PiTaPaグーパス株式会社 代表取締役社長)
 - 『「地域力」の創造 三鷹市「学校安全推進員」(スクールエンジェルズ SA)』
● 隈部 靖雄 氏 (NPO法人シニアSOHO普及サロン・三鷹 副代表理事)
 - 『毎日使うガスだからこそ、高齢社会を「見守り」ます！』
● 阿部 嘉和 氏 (株式会社リキッドガス京都 取締役事業部長)
 - 『(仮)PHS網を利用した全国「あんしん・あんぜん」をケータイしよう！
-ウィルコム どこ・イルカ、イルカーナ-』
● 喜久川 政樹 氏 (株式会社ウィルコム 代表取締役社長)
- 座長: ● 北岡 有喜 氏 (NHO 京都医療センター 医療情報部長/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

● 会場参加者、演者を交えた総合討論会

コーディネータ: ● 新川 達郎 氏 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事)

演者を交えたレセプション(懇親会) 17:00~18:20

第2部

18:30~20:30

● 分科会 同施設内「和風別館」にて開催いたします。

自分たちが自立的に運用可能な「安心・安全なまちづくり」について膝詰め議論いたします！各地からのテーマの持ち寄りも大歓迎です。

● 主催: NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)

● 後援: 京都府、京都市、京都商工会議所、ITコンソーシアム京都、京都新聞社

● お問い合わせ: NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター(SCCJ) 隅岡 TEL: 075-645-8401(内線8989) E-mail: info@sccj.com

会場地図



● お申込: 下記ホームページよりお申込になれます。

<http://www.sccj.com/kk/2006/> ※事前申込制

● 参加費: 有料

プラン	対象	一般	SCCJ会員・学生 (企業・団体/個人)
第1部(13:00~16:50)のみの参加		2,500円	1,500円
第1部、懇親会(17:00~18:20)のみの参加		6,000円	5,000円
第1部、懇親会、第2部分科会 (18:30~20:30)すべて参加		7,000円	6,000円